

## DX推進に資する人材の確保・育成等の考え方について

中野区は、令和3年度に第2次中野区地域情報化推進計画（以下、「計画」という。）を策定し、新庁舎移転を契機として、Microsoft365や統合型GIS等の新たなICTツールを導入することなどにより、区のデジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」という。）を計画的に進めている。一方で、こうして導入した様々なICTツールを有効に活用し、行政サービスの高質化、業務の効率化を実現できる、区のDXを推進する人材が求められている。

こうしたことから、下記の考え方に基づいて、DX推進に資する人材の確保・育成等を進めていく。

### 1 基本的な考え方

- 計画に掲げる目標「効率的で質の高い情報基盤の整備による区政運営の推進」の実現に向け、急速に発展するICTに対応可能な職員を計画的、継続的に育成するとともに、外部人材の活用などを進め、体制の強化を行う。  
また、「中野区人材育成基本方針」においては、政策形成能力の向上、デジタルシフトへの対応力強化等のため、ICTスキルの高い人材を実務経験を通じて育成するとともに、期間を定めて外部から確保するとしている。
- 区のDXを推進するには、住民視点にたち、ICTツールを活用した効率的かつ効果的な行政サービスをデザインすることが求められる。  
そのため職員には、行政事務に関するスキル及びICTに関するスキルの双方が必要であり、それぞれのスキルを兼ね備えた職員をDXの推進役として、計画的に確保、育成する。  
また、高度なICTの専門知識等が時限的に必要となる場合は、外部の人材を積極的に確保、活用していく。
- 一方で、DXはデジタル技術・知識を持つ一部の職員で進めていくものではなく、あらゆる職種・職層の職員が一体となって進めていく必要がある。  
そのためには、全職員のICTリテラシーを継続的に向上させ、スキルの底上げを図るとともに、DX推進の前提となる、仕事の進め方や考え方、職員の働き方に対する管理監督者の意識、思考の改革をすすめることで、全庁的なDX推進の土壌を整備する。

## 2 DX推進に資する人材マネジメント ※詳細は別紙参照

### (1) DX推進の中核を担う人材（DX人材）の確保・育成

- ① ICTに関する高度な専門知識を持った人材（ICT高度専門人材）の確保
  - 全庁的な情報政策のマネジメントへの貢献や、時限的なプロジェクトごとに高度なICTの専門知識が必要となる場合に、外部から人材の確保、活用を図る。
- ② 各部課におけるDXを推進する職員（各部課DXリーダー）の育成
  - 各部課において、データ分析・政策立案、業務の効率化・改善、区民サービスの向上を、ICTの活用によって実現できる人材を育成する。
  - ICTと行政課題の双方に一定レベルで精通した人材を、計画的に確保、育成する。

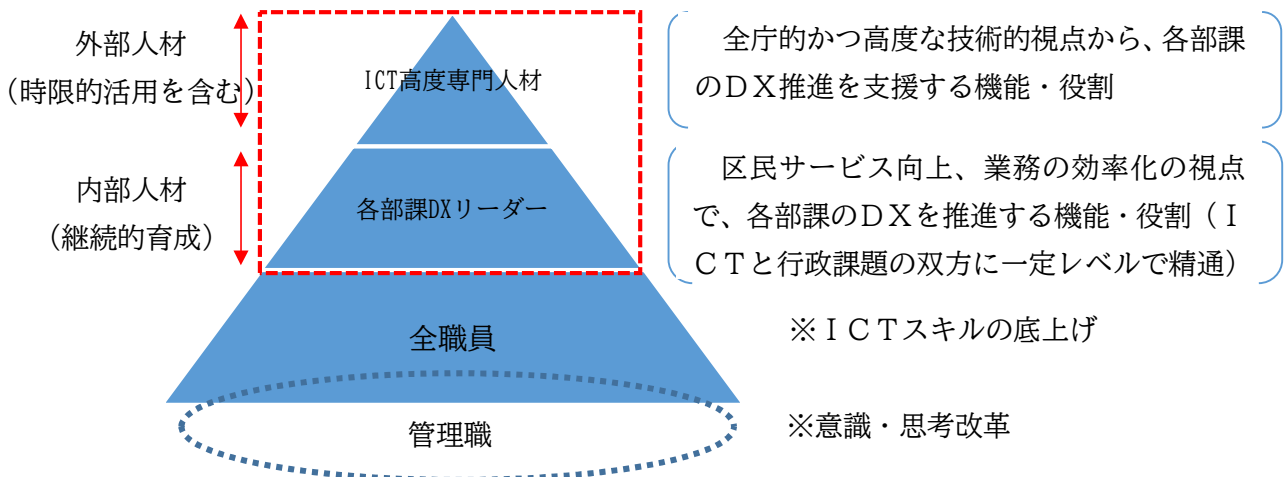
### (2) 全職員のICTリテラシーの継続的向上

- 各職員がICTを活用した業務遂行や業務改善に資する能力を向上する仕組みを構築し、スキルの底上げを図る。

### (3) 管理職の意識・思考改革

- DX推進の前提となる、仕事の進め方や考え方、職員の働き方の改革を図るため、管理監督者の意識、思考改革を進める。

#### ※イメージ図



## 3 その他

今後、「中野区人材育成基本方針」で示した人材育成に係る取組みを具体化させた「(仮称)中野区人材育成戦略」を策定する予定であり、DXに資する人材の育成・活用の考え方についてもこの戦略に明記していく。

(別紙) DX推進に資する人材マネジメント

区分		機能・役割	配置	獲得(採用)	育成
ICT高度専門人材	情報政策官	<p><b>【全庁的かつ高度な技術的視点から各部課のDX推進を支援する機能・役割】</b></p> <p>○情報システムの企画・立案、運用及び廃棄の過程を適正に統制することにより、情報システムの効率的かつ効果的な活用と情報システムに係る経費の削減を図る。</p>	DX推進室 (CIOオフィス)	<p><b>【外部人材の獲得】</b></p> <p>○会計年度任用職員</p>	<p>○行政事務等に関する知識の習得 地方自治制度、特別区制度、中野区政概要、基本構想、危機管理、コンプライアンス、財政の概要、予算の仕組み、契約、会計、文書・情報公開・個人情報保護、区議会、法務基礎 等</p> <p>○各部課の業務の理解</p>
	IT専門支援員	<p>○情報システムの全体最適化業務や各課が所管する情報システムの調達・運用等にかかる支援を行う。</p> <p>①システム要件定義の支援 ②業務フローの作成支援、業務改善の助言 ③見積内容の精査の助言 ④仕様書の作成支援 ⑤プロジェクトマネジメントの支援 ⑥ベンダーとの仕様調整・価格交渉の支援 等</p>			
	任期付ICT専門職員	<p><b>【高度な技術的視点から各部課のDXを推進する機能・役割】</b></p> <p>○民間企業や他自治体の最新の取組を区の業務改善に取り入れるための検討・調整</p> <p>○最新技術を取り入れた大規模なシステム導入・構築、国等の大規模な施策への対応等をリーダーとなり推進する。</p>	各部課	<p><b>【外部人材の獲得】</b></p> <p>○任期付職員</p>	
DX人材	各部課DXリーダー	<p><b>【①データ分析・政策立案】</b></p> <p>○情報処理、統計学などの情報科学系の知識を理解したうえで、統合型GISや分析ツールを使って様々なデータを活用し、課題解決に向けた行動や政策形成を行う。</p> <p><b>【②業務の効率化・改善】</b></p> <p>○業務の特性や課題に合わせた改善策を検討するとともに、Microsoft365の様々なツールを最大限活用し、情報共有の円滑化、業務の迅速化・効率化を推進する。</p> <p><b>【③区民サービスの向上】</b></p> <p>○ICTツールを活用した区民視点で分かりやすく使いやすいサービスの検討・実施。</p> <p><b>【④その他】</b></p> <p>○人材育成の担い手として、ツールの操作等ICTに関するスキルを他の職員に教授する。</p> <p>○課の業務に精通し、周囲を巻き込みICTツールを活用した業務改善を提案・調整・推進する。</p> <p>○他組織への人材派遣を通じて、ノウハウや文化等を区へ還元する。</p>	各部課	<p><b>【内部人材の育成】</b></p> <p>○一般職員(事務職、技術・専門職)にICTに関する知識を習得させて育成。 ※エキスパート職員を含む</p> <p>○一般職員(ICT職)を採用し、行政事務に関する知識を習得させて育成 ※R5年度特別区採用試験から新規実施予定</p>	<p>○Microsoft365の機能である分析ツール(BI)や業務自動化ツール(RPA)等を活用し、各課の課題解決を考えるワークショップの実施</p> <p>○統合型GISの活用による政策形成等のスキル修得・向上</p> <p>○エキスパート職員認定制度による育成支援</p> <p>○情報関連資格の試験対策支援、資格取得資金の補助</p> <p>○他組織(民間企業やデジタル庁等)への派遣、人事交流</p>

区分	機能・役割	育成
全職員	<p>○ICTに関する基礎的な知識(情報リテラシー、セキュリティ)を持ち、職場に導入されているICTツールや機能を活用できる。</p> <p>○ICTを活用した業務改善やデータの利活用の視点をもって、業務に取り組むことができる。</p>	<p>○Microsoft365、統合型GIS等のICTツールの基本操作の修得等</p> <p>○情報セキュリティを含むICTリテラシー、データ活用に関する定期的な研修の実施</p>
管理職	<p>○区民サービス向上及び業務の効率化を実現する仕事の仕方や職員の働き方等の見直しを図り、デジタル技術を活用した改革・改善を図る。</p> <p>○EBPMを基礎とした事業構築、推進、検証。</p>	<p>○DX推進に向けた意識改革、思考改革</p> <p>○Microsoft365、統合型GIS等のICTツールを活用した事業推進事例</p> <p>○データリテラシーの向上</p>